

令和6年1月1日発行

# こばと

守口市民生委員児童委員協議会  
編集 広報・調査部会



第82号

守口市京阪本通2-5-5  
守口市社会福祉協議会内  
〒570-0083 電話 6992-2715

## 令和5年度表彰 (敬称略)

### 受賞者の皆様おめでとうございます!

#### 〈全市民連会長表彰〉

永年勤続民生委員・児童委員表彰

土居地区 澤田 見  
滝井地区 川住 克子  
小丸 浩代  
金田地区 川口 由美

#### 〈全社協会長表彰〉

永年勤続功労表彰

土居地区 徳山 正廣  
功労表彰  
三郷地区 中橋 保夫  
庭窪地区 阪本 晃子



ご協力よろしく申し上げます

### 協力御礼 赤い羽根街頭募金活動

10月2日、京阪守口市駅前と大日イオン周辺で街頭募金活動を行いました。  
募金金額8万1285円を  
守口地区共同募金会へ寄付いたしました。

### 新任民生児童委員紹介 (敬称略)

令和5年8月1日委嘱

(主任児童委員)  
寺方地区 橋本 恵子  
梶地区 今瀧 信彦

### 訃報

藤田地区 今藤 貞和 委員  
令和5年6月12日逝去  
謹んでご冥福をお祈りいたします。

### 事例 ファイル 13

数年前に近所の団地に越してきた60代の男性Aさんは90代の母親Bさんと二人暮らし。Bさんに軽い認知症の症状が出始めたため相談を受けたので、デイサービスの提案などをしましたが、大丈夫ですからと固辞されていました。

ところがある朝、Aさんから一本の電話があり駆けつけると、Bさんがベッド脇に倒れたまま動けなくなっていました。もう3日間もその状態だったそうです。すぐに救急車の手配をしましたが、Aさんは病院代を心配され躊躇していました。行政でお手伝いできることがありませんからと説得し、病院へ同行しました。Bさんは背骨の骨折と分かり、入院手術となりました。地域包括支援センターに相談したところ、Bさんは生活保護を受け、退院後は特養に入所できることになりました。Aさんも安心されました。

### 高齢者防災見守り 安心事業

この事業は平成30年度より始まり、本年度で5回目となりました。

今夏の猛暑、今までにない動きをする台風、各地で起こる地震などが目立ってきており、日頃よりの備えや防災意識の向上、避難行動のシミュレーションが必要となつていきます。私自身も20数軒の対象を持ち、75歳以上の独居の方の様々なお話を伺いました。とても元気に過ごされている方、非常時の避難についてきちんと意識されている方、あまり外に出ていなくコミュニケーションをとられていない方など、玄関先でお話する

### もりぐち救急安心 カプセル事業

もりぐち救急安心カプセル事業が始まって10年になります。実際にどのような活用されているのか、消防署でお話を伺いました。成功例では、独居で意識障害のある方、認知症の方、家族が把握できていない方等の対応で活用できたことが挙げられました。また、

せっかく置いてあっても、内容が古かったり乏しかったり、冷蔵庫の奥にあり分りにくかったりすることもあり、活用に至らないこともあるようです。良い取り組みだと評価していただいたので、より活用するために記入内容の更新や適正な置き方の確認の必要を感じました。

植田 尚絵

### 編集後記

先日、徳島の大家国際美術館へ行ってきました。西洋名画を陶板複製画として展示している美術館です。

最初に米津玄師が紅白で歌ったシスティーナ礼拝堂に入った瞬間、その壮大さに言葉も出さず心を奪われました。

ダ・ヴィンチの『モナリザ』や『最後の晩餐』、さらにフェルメール、モネ、ゴッホ、ルノアール、ピカソなど世界の名画が続きます。

2時間という駆け足での鑑賞でしたが、これだけ多くの名画に接することができて本当に至福のひとときでした。

皆さんは今年どんな至福の時を過ごされますか？

山本 千佐子



ことでいろいろな状況を認識することができました。この事業をきっかけとして毎日を元気に暮らすための地域コミュニケーション増進につながっていかばと思います。

あるお医者さんの言葉ですが、年を重ねてから毎日を楽しく元気に過ごす秘訣は「きょうよう」が大事だそうです。「きょうよう」は「今日行くところがある」。「よう」は「今日用事がある」だそうです。訪問した時のネタにでもしていたら幸いです。

令和4年度の配付結果は5316個(配付対象者の約58%)でした。

高山 孝一



今年は5年保証のソーセージとティッシュでした



守口市民生委員児童委員協議会  
会長 萩原 朋子

あけまして  
おめでとうございませう

委員の皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、長らく続いていた活動の自粛が緩和されました。守口市民児協といたしましても、規模を縮小していた事業や研修会を実施することができ、実りある1年となりました。

一方、コロナ禍で地域の方々と関わる機会が減り、委員同士の交流もできない中で不安を感じていた委員も少なくなくなりました。そのような状況においても、訪問活動などできることを見つけ、活動していただいた委員の皆様、心より感謝申し上げます。

改選から1年が経ち、新任委員の皆様も徐々に慣れてきた頃かと思われまます。民生児童委員の活動は、「高齢者等へ

### 地区活動紹介

#### 橋波地区

コロナ禍において、橋波地区では行事が思うように実施できずに3年が過ぎてしまいました。地域の方々とうつかりお話しすることもできなかったのですが、防災グッズを各家庭にお届けした際にお話しを聞いて、元気を姿を拝見することができ、ホッとしました次第です。

今はマスクの着用も緩和され、地域の活動も作動し始めました。皆様の笑顔や明るさが戻りつつある中、コロナは終息の気配がなく、今はインフルエンザ等も流行り、学級閉鎖が多いとの話を学校の先生方からお聞きしました。

自分の健康は自分で守りつつ、皆様の協力を得て、活動を進めて参りたいと思います。また皆様、笑顔でお会いしましょう。

藤田 富美子



#### 南地区



お馴染みに、新メンバーも増えました

例年、地域の方々を招いて歩こう会を実施しています。南地区にとつて行き先選びは徒歩圏内の、素晴らしい場所を外す訳にはいきません。四季それぞれの景観を持つ鶴見緑地公園で、バスツアーにはない良さがあります。

ある晴天の日、比較的距離離とはいえ、久々の徒歩での外出に不安を抱えた参加者もあり、途中には疲労で立ち止まるというところを、同胞に励まされながら無事に踏破しました。

参加者は午前に地域の集会所をスタートします。昼食のための別部隊が、参加者のために自車で昼食場所まで届けました。参加者の皆さんには格別の味だったでしょう。

### 部会活動報告

#### 生活福祉・広報調査部 合同施設見学



舞鶴引揚記念館の様子

10月19日、生活福祉部会と広報調査部の合同施設見学が行われました。

赤れんが博物館、海軍ゆかりの港めぐり遊覧船、舞鶴引揚記念館等を回りました。その中でも舞鶴引揚記念館が特に印象的でした。

シベリア抑留生活における

強制労働には、簡単に言葉では表せない感情が沸き起こりました。罪のない罰」という表現が今も脳裏に焼き付いて離れません。抑留生活体験室にも入り、当時の様子を直に感じる事ができました。戦争の愚かさについて再認識しなければいけないとつくづく思いました。

港めぐりの遊覧船から見える巨大な船舶には歓声が上がりました。

好天にも恵まれて、委員同士の親睦も深まり、意義のある見学会になりました。

中西 厚子

#### 児童障がい高齢者福祉部会合同施設見学



九七式艦上攻撃機の実物大模型

10月30日、児童・障がい高齢者福祉部会合同施設見学が行われました。

行先は、兵庫県加西市にある鶴野飛行跡の戦争遺跡巡りと県立フラワースタターに行きました。Soraかさいの戦争資料館では、海軍航空隊の戦闘機組み立てや、飛行機の操縦訓練等が行われた当時の様子や、戦闘機「紫電改」特攻機としても使われた「九七式艦上攻撃機」の実物大模型が展示され、地元ガイドさんにより鶴野飛行場建設開始から終戦までの約3年間のトピックス・ストーリー映像等が紹介されていて、戦争に対する概念をもう一度考えさせられる一日でした。

フラワーセンターでは、ダリアや菊などの秋の花が、とても綺麗に咲いていて、心が癒されるひと時でした。

西川 光雄



実際の防空壕内で説明を受けている様子

### 生活福祉部会研修会

#### 「我が国を取り巻く安全保障環境について」

講師 自衛隊大阪地方協力本部 北東地区隊長 2等陸佐 間瀬 晃 氏

陸・海・航空の3自衛隊から構成されています。日本の平和と独立を維持することや、主な活動として自然災害及び事故などの人命救助、被災民の生活支援に取り組まれています。また、隊員は男性だけでなく、女性も増えてきて福利厚生も充実しているようです。しかし深刻な人手不足なので若い方たちに入隊していただきたいとのことでした。

大変なお仕事ですが、今後日本のために頑張っていたきたいと思います。

布袋 修子



隊長による安全保障等説明の様子

### 児童福祉部会

#### 三世代ふれあいっ子



ふれあいっ子の風景

コロナも5類に移行し、徐々にマスクも外していくようになり、少しずつ色々な行事も行われています。私たち児童福祉部会も『三世代ふれあいっ子』を3年ぶりに「錦小学校」「佐太小学校」で開催しました。

部会員のみんなで、はりきって作品キットの下準備をしました。初めてという方も多く、また久しぶりという中、色々と検討し教え合い、楽しい時間を過ごしました。

当日は両校とも大勢の方に参加していただき盛り上がりました。皆嬉しそうに自分で作った作品を持ち帰っていました。大人も子どもも一緒に笑顔になり、人とのつながりを大切に、三世代の遊びの場作りを楽しんでもらえたかなと思っています。私たちにとつても楽しい1日でした。最後に地域の方々、福祉委

### 障がい高齢者福祉部会 研修会

員さん、社協の皆様、本当にありがとうございました。

中場 康子



研修会の様子

#### 「認知症についてこんな時どうしたら良いの？」

講師 守口第3地域包括支援センター 西尾百合子氏・五十川亜矢氏 認知症地域支援推進員 関 和美 氏

令和5年度の研修会が9月11日(月) 中部エリアコミュニティセンターで開催されました。

令和4年3月の守口市の統計では、高齢化率28.7%で85歳以上の方の4人に1人が認知症になっておられるというショッキングな話から始まり、認知症の症状や予防法などの基礎知識と、知っておきたい制度や地域のサービスの紹介などをわかりやすく説明して

### 河北ブロック主任児童委員連絡会研修会

大東市総合文化センター(サテーターホール)多目的ホールに守口市の主任児童委員16名が参加しました。

大東市では「ネウボラ」ド「だいつ」を開設し、妊娠、出産期から子育て期、就学期に至るステージにおいて子育て家庭の抱える様々な不安、悩みに継続的に寄り添い、切れ目のない支援を提供することにより「子育てしやすいまち大東」の実現を目指しています。守口市の子育て世代包括センター「出あえる、話しあえる、向きあえる、支えあえる、助けあえる」の「あえる」と重なりました。どちらも関係機関が地域と繋がることで家庭の安心に繋が

ります。

研修会では井上鈴佳先生に「性の多様性の理解を進めるために」LGBTについて研修していただきました。

ひと昔前なら、何を言っているんだ!くらいの抵抗があったと思います。性的に悩んでいる人は昔からいました。それによって対人関係がうまくいかず、誤解などから差別、いじめを受ける人、自殺をしようとする人、自殺をしてしまう人がいるのは事実です。

性の多様性に関する理解を深めていくことで性的マイノリティ(少数)の人々に対する誤解、偏見をなくし、誰もが自分らしく生きることができる社会になれると思います。

井上鈴佳先生からLGBT ALLYというハート形の可愛いステッカーをいただきました。(ALLYとは、味方という意味表示)

楠 由美子



台フキンを土居ひまわりこども園に贈呈